

愛・地球博記念公園 公園マネジメント会議 **かわらばん** 第33号

～平成26年度第2回コア会議を開催しました～



平成26年11月13日(木)に「公園マネジメント会議 平成26年度第2回コア会議」が愛・地球博記念公園 地球市民交流センターにて開催され、16名のコア会議会員の方が出席されました。

事務局から評価委員の募集について説明され、評価委員会の今年度のスケジュールについて承認されました。全国都市緑化あいちフェアへの取り組みについて、事務局より今後のスケジュールやディレクター会議(緑化フェアへの取組みのまとめ役による会議)でのこれまでの検討内容などの説明がありました。その後、各ゾーンのディレクターを中心に、多目的スタジオでの展示内容について、グループに分かれて意見交換を行い、全体で発表・共有しました。また、ゾーンⅢの展示である「モリコロパークの未来への提案」として、会員の活動と緑のある空間の関わりを考えました。



評価委員の募集について

(報告・承認)・評価委員の募集について事務局より説明されました。
・評価委員会の今年度のスケジュールについて承認されました。

(質疑・意見交換)・特になし。

(仮称)あいちフェア市民村の概要を決定しよう

(意見交換) ディレクター会議で検討された多目的スタジオでの展示内容について、ゾーンⅠ～Ⅳに分かれて意見交換を行いました。

(ゾーンⅠの主な意見)

⇒ディレクター案を了承いただいた。
・万博を懐かしんでもらうというコンセプトのもと、テーマを「リメンバー-EXPO」としたい。
・展示は、あいちフェア市民村全体の概要説明のパネル作成、稲村会長の収蔵物や万博のお宝グッズを取り寄せて展示するといった方向で進めていく。

(ゾーンⅡの主な意見)

⇒ディレクター案を了承いただいた。
・一番メインの展示「箱森」(実際の植物等を展示した森づくり)を進めていく。
・会員の活動やフィールドにつなげる仕掛けづくりについて、具体的なアイデアの提案があった。
・緑のカーテンは、時期や場所、地植えができないことを考えると厳しいという意見が出た。

(ゾーンⅢの主な意見)

⇒ディレクター案を概ね了承いただいた。
・ゾーンⅢではマネジメント会議の会員の表現を第一条件にしたい。会員の活動紹介やワークショップをメインに、憩いのスペース、来園者のメッセージといった、三本柱で構成していく。
・来園者に記入してもらうメッセージ内容は、未来への「希望」と「心配」とする。果物(りんご、柿、バナナ等)の木それぞれにテーマを設け、記入したメッセージカードをつける。毎日回収してテーマ毎の集計を取りたい。

(ゾーンⅣの主な意見)

⇒修正が必要な部分がある。
・入口側のガラス張りの壁面は、外から見て中に入りたくなるような仕掛けが必要。
(例) ガラス張りの壁面側にクイズ等を貼り、答えは中に入って展示を見ると分かる 等
・ステージと中のワークショップや展示等を連動させる。中に人を呼び込むことを基本方針としてはどうか。
(例) バナナくらぶさん…バナナクイズ等をステージで行った後に、バナナの紙すき体験を中で開催する 等



会員の活動と緑のある空間の関わりを考えよう

(意見交換) ゾーンⅢで展示する「モリコロパークの未来への提案」について、各ゾーンに分かれて以下の手順で考えました。

- ステップ① 会員の活動が緑のある空間とどのように関わっているかを考える。
- ステップ② その活動をモリコロパークで行うことの良さについて理由も含めて整理してみる。
- ステップ③ その活動と緑化とのつながりをキャッチコピーで表現してみよう。

(ゾーンⅠの主な意見)

- ・我々の活動テーマは「万博の思い出」である。
- ・万博の展示を通し、色々な国の生活の中で緑を利用していることや人々と緑の繋がりがあることを示せる。
- ・竹を使った展示が、自然や緑を大切に使うことにつながる。
- ・COP10 や ESD といった大きなイベントにも我々市民が関わり続けられてきた。そのテーマ自体が自然や緑を扱っているので、続いてきたということはいろんな方が自然を守るという関心を持つことにつながっている。
- ・マネジメント会議こそがこの10年の成果である。我々が存在していること自体が緑につながる。

(ゾーンⅡの主な意見)

- ・「緑を育てる」「緑を観察する」「緑を使う」「緑を体験する」「緑を使った学習をする」といった関わりがある。
- ・活動をモリコロパークで行うことの良さは、「公園として整備されているので安全なフィールドである」「公園に遊びに来た人が自然とふれあうことができる」「まちの中にありながら身近に緑を感じることができる」「貴重な植物がある」「自然だけではなく、人との関わりがあった森や自然がある地域である」「生き物(動物等)と共存できる場所である」といったことが挙げられる。
- ・キャッチコピー案:「モリ森大発見」、「ぶらっと、もりっと発見」、「イノシシに注意」

(ゾーンⅢの主な意見)

- ・緑と人との関わりの中で、自然を育むということが大切である。
- ・人との関わりや交流をモリコロパークできちっとやってもらいたい。
- ・食べ物と緑は重要な関係がある。例えば、家族で楽しく弁当を食べ、モリコロパークで集えれば最高の平和が味わえると思う。
- ・キャッチコピー案:「さあ行こう、リニモに乗って緑化フェア、たくさんの笑顔と緑につなげる橋渡しモリコロパーク」、「家と庭のそった平和なモリコロパーク」、「結びのパワースポット、デートスポットをつくりましょう、夕日と森の妖精のモリコロパーク」

(ゾーンⅣの主な意見)

- ・このグループは緑に直接関係する活動ではないが、「犬の訓練で公園を利用」、「動物も緑で癒される。人にも動物にもやさしくをモットーに活動。」「食育」「マラソン大会は街より自然の中が気持ちいい」等、緑がなければできない、緑がないとつまらない、といった生活を豊かにしてくれるような存在という関わり方がある。
- ・キャッチコピー案は表現が難しく、出てこなかった。

会員情報

・今回は以下の会員に活動紹介をしていただきました。

- 1) 知ってましたか?〇〇
「花と緑と健康のまちづくりフォーラム」、「森林を守るバナナくらぶ」
- 2) 分科会活性化プロジェクト
「モリコロパークのクリスマス会分科会」
 - ・クリスマス会: 12月20日(土)、21(日)10時~16時開催。
 - ・同時開催のイベントも集客力があり、相乗効果を期待している



連絡事項

- ・11月10日~12日に名古屋で開催された持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議での活動報告があり、「水源の森」自然史エコツアーの開催案内がありました。(わくわく体験隊)
- ・緑化フェアの竹のドームや柵などの展示装飾を「春まつり」で試作します!竹の伐採や加工にみなさんご協力よろしくお願いします!(あいちフェアD会議ディレクター)

お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 山口 千代子
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329
公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 落合 真由美
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙1533-1 TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

